

65th Science and Technology Film/Video Festival

第65回 科学技術映像祭



内閣総理大臣賞 (自然・暮らし部門)

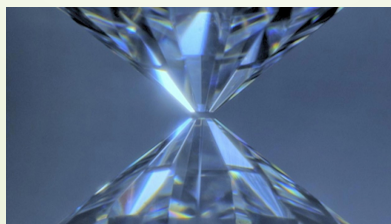
NHKスペシャル 映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編

文部科学大臣賞 (自然・暮らし部門)



ガリレオX
地衣類の世界
身近な謎多き生命体

文部科学大臣賞 (研究・技術開発部門)



居間からサイエンス
～地球誕生の謎に迫る！
地下2600キロの大発見

文部科学大臣賞 (教育・教養部門)



ダーウィンが来た！
生きものの不思議を解き明かせ！
子ども研究者スペシャル

主催／（公財）日本科学技術振興財団、（公社）映像文化製作者連盟
（公財）つくば科学万博記念財団、（一財）新技術振興渡辺記念会

後援／文部科学省、日本放送協会、（一社）日本民間放送連盟
（一社）日本新聞協会、（一財）日本視聴覚教育協会
（一財）経済広報センター、国立研究開発法人科学技術振興機構
全国科学館連携協議会、（公財）民間放送教育協会

★入選作品発表会

上映作品、プログラム等の詳細は各施設にお問い合わせのうえ、ご来場ください。都合により、中止または延期になる場合もあります。

- 科学技術館 TEL：03-3212-8487
2024.04～2025.03
- つくばエキスポセンター TEL：029-858-1100
2024.4～2025.3
- 旭川市科学館 サイパル TEL：0166-31-3186
2024.4～2025.3
- 帯広市児童会館 TEL：0155-24-2434
7/28
- はこだてみらい館 TEL：0138-26-6000
2024.4～2025.3
- 苫小牧市科学センター TEL：0144-33-9158
2024.4～2025.3
- スリーエム仙台市科学館 TEL：022-276-2201
4/13～5/12
- 郡山市ふれあい科学館 TEL：024-936-0201
年末年始（調整中）
- 大洗わくわく科学館 TEL：029-267-8989
4/17～21
- 高崎市少年科学館 TEL：027-321-0323
6/1～10/31
- 所沢航空発祥記念館 TEL：04-2996-2225
9/1,7,8, 9/14～16, 9/23,28,29
- 新潟県立自然科学館 TEL：025-283-3331
調整中
- 蒲郡市生命の海科学館 TEL：0533-66-1717
調整中
- 大阪科学技術館 TEL：06-6441-0915
4/15～21
- 5-Daysこども文化科学館 TEL：082-222-5346
5/3,6
- 高知みらい科学館 TEL：088-823-7767
7/21
- 宮崎科学技術館 TEL：0985-23-2700
7/20～9/1
- 鹿児島市立科学館 TEL：099-250-8511
10/2～31

第65回 科学技術映像祭



科学技術映像祭は、優れた科学技術映像を選奨することで科学技術への関心を喚起するとともに、その普及と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的として1960（昭和35）年より開催し、今回、第65回を迎えました。

優れた科学技術映像の選定にあたっては、まず運営委員会（委員長：永野博(公社)日本工学アカデミー顧問、他委員6名）を組織し、運営委員会の示す基本方針の下、2023年1月1日から2023年12月31日までに完成または放映された作品を公募しました。その結果、「自然・くらし部門」「研究・技術開発部門」「教育・教養部門」の3部門に対し、31機関から56作品が出品され、これらの審査試写ならびに討論を小出重幸審査委員長（日本科学技術ジャーナリスト会議理事）をはじめとして12名の審査委員が担当しました。こうして入選作品が選出され、運営委員会において決定しました。

決定した作品には、内閣総理大臣賞（1作品）、文部科学大臣賞（3作品）、部門優秀賞（6作品）、特別奨励賞（2作品）、新技術振興渡辺記念会理事長賞（1作品）、つくば科学万博記念財団理事長賞（1作品）、科学技術館館長賞（1作品）が製作者ならびに企画者に贈呈されます。

第65回 科学技術映像祭 入選作品

内閣総理大臣賞

自然・暮らし部門 NHKスペシャル 映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編 … 6
企画・製作：日本放送協会

文部科学大臣賞

自然・暮らし部門 ガリレオX 地衣類の世界 身近な謎多き生命体 …… 7
企画・製作：ワック株式会社

研究・技術開発部門 居間からサイエンス ～地球誕生の謎に迫る！ 地下2600キロの大発見 … 8
企画・製作：株式会社BSテレビ東京

教育・教養部門 ダーウィンが来た！生きものの不思議を解き明かせ！ …… 9
子ども研究者スペシャル
製作：株式会社NHKエンタープライズ 企画：日本放送協会

部門優秀賞

自然・暮らし部門 テレメンタリー2023 プラスチックの行方 …… 10
～「水の国」からの警鐘～
企画・製作：熊本朝日放送株式会社

自然・暮らし部門 所さんの目がテン！かがくの里 フクロウプロジェクト …… 11
企画・製作：日本テレビ放送網株式会社

研究・技術開発部門 フロンティア 人間の知能は作れるか ～A I 究極の知能への挑戦～ … 12
企画・製作：日本放送協会

教育・教養部門 THE MAKING (326) 通販の荷物がとどくまで …… 13
製作：株式会社日テレ アックスオン 企画：国立研究開発法人科学技術振興機構

教育・教養部門 日本のチカラ 口福（こうふく）の献立 ～お腹と心を満たす嚙下食～ … 14
製作：山形放送株式会社 企画：公益財団法人 民間放送教育協会

教育・教養部門 目撃者 f リンゴ飴のこえ ～難聴って、なんなん？～ …… 15
企画・製作：株式会社福岡放送

特別奨励賞

教育・教養部門 常呂川下流域の古代文化を解く …… 16
製作：北海道映像記録株式会社
企画：東京大学大学院人文社会系研究科附属北海文化研究 常呂実習施設

教育・教養部門 学校で使える理科実験 …… 17
絶対に入らない瓶の中に松ぼっくりを閉じ込める方法！
松ぼっくりのびん詰め作りの方法と理由を解説しました。
企画・製作：NPO法人教師と子どもの支援活動

つくば科学万博記念財団理事長賞

教育・教養部門 学校で使える理科実験 …… 17
絶対に入らない瓶の中に松ぼっくりを閉じ込める方法！
松ぼっくりのびん詰め作りの方法と理由を解説しました。
企画・製作：NPO法人教師と子どもの支援活動

新技術振興渡辺記念会理事長賞

研究・技術開発部門 ガリレオX 自己組織化 …… 18
無秩序な世界から秩序を生み出す不思議なプロセス
企画・製作：ワック株式会社

科学技術館館長賞

教育・教養部門 なぜ水星へ行くのは最も難しいのか？ 全惑星へのアクセス時間比較 … 19
企画・製作：午後正午

科学技術映像祭への出品は、前回、前々回とインターネット等で配信されている動画が急激に増えていたが、第65回となる今回は要件変更（応募本数を一機関3本までとする、など）の影響か、機関数、本数とも減少した。その分、精鋭の作品が集まり、審査員を悩ませることになった。

出品されたのは31機関から56本。自然・くらし部門14本、研究・技術開発部門15本、教育・教養部門27本だった。一次審査、本選審査、あわせて12人の審査員が作品を観て採点し、採点結果を見ながら討論と投票を重ねて受賞作品を決めた。

なお、一次審査を通過したのは、自然・くらし部門6本、研究・技術開発部門7本、教育・教養部門10本の計23本である。受賞したのは14作品で、いずれも心に残る秀作だった。

内閣総理大臣賞の「NHKスペシャル 映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編」は、関東大震災から100年という節目に当時の記録映像を8K高精細化・カラー化して、地震後の東京の様子を再現した。あやふやだった撮影場所や撮影時間を一つひとつ突き止め、新たに実験もして「飛び火火災」が広がる状況、さらには橋の上で群衆事故が起きて多数の死者が出た状況を生存者の証言音声なども交えて描いた。カラー化は「現代の潮流ではあるが一般に色彩の真正性の根拠に欠ける」という指摘はあったものの、記録映像資産としても防災教育の観点からも極めて優れているとする点で全審査員の意見が一致した。

文部科学大臣賞は各部門から1本ずつで、自然・くらし部門の「ガリレオX 地衣類の世界 身近な謎多き生命体」は、地衣類という身近だけれど見過ごされている生物について、近年も新発見が相次いでいることを伝える。研究者たちの生き生きとした姿が印象的だ。地衣類が環境変化のバロメーターになることも触れられ、内容の濃い番組だった。

研究・技術開発部門の「居間からサイエンス～地球誕生の謎に迫る！ 地下 2600 キロの大発見」は、誰も見たことがない地球内部の姿を科学者と聞き手の軽妙なやりとりで楽しく理解させる。研究者の話術と聞き手の力量に賞賛が集まった。

教育・教養部門の「ダーウィンが来た！ 生きものの不思議を解き明かせ！ 子ども研究者スペシャル」は、子どもたちの研究を大人が助けるという企画で、子どもの発想力に感心するとともに「わからないから調べる」醍醐味を味わえる。うまくいかなかったこともきちんと放送しているところが良い。

部門優秀賞は6作品。「所さんの目がテン！ かがくの里 フクロウプロジェクト」は、長年の取り組みによって撮影できたフクロウの子育て映像を軸に作られた30分番組3回分を繋いだ作品。フクロウ夫婦の協力ぶりや子の巣立ちは感動的で、前例のない動物生態映像が高く評価

された。

「テレメンタリー2023 プラスチックの行方～「水の国」からの警鐘～」は、地下水が豊富で「水の国」と呼ばれる熊本の地元放送局がマイクロプラスチックの混入が地下水にも及んでいることや毒性についての最近の研究成果などを伝えて、人々に考える材料を提供した。

「フロンティア 人間の知能は作れるか～AI 究極の知能への挑戦～」は「知能とは何か」という大問題にさまざまな観点から迫った力作。ただ、多くのトピックを盛り込んだあまり、食い足りない部分も出てきてしまったのは残念だった。

「日本のチカラ 口福（こうふく）の献立～お腹と心を満たす嚙下食～」は、飲み込みやすさ最優先でつくられてきた嚙下食を、見た目も味もおいしくする取り組みを紹介する。こういう取り組みが全国に広がってほしいと思わずにはいられない。「目撃者 f リンゴ飴のこえ～難聴って、なんなん？～」は、聴覚に障がいを持つ人たちが中心になって働くリンゴ飴専門店オープンドキュメンタリーとともに、難聴について理解を広げる活動も伝える。さまざまな気づきが得られる佳編だ。

インターネットで配信されている「THE MAKING (326) 通販の荷物がとどくまで」は、科学技術振興機構による生産プロセスの紹介動画シリーズの一つ。巨大倉庫で商品がほぼ人手を介さず所定の位置に収まり、そこから注文に応じて箱に入れられ梱包されていく様子はい見入ってしまう。

特別奨励賞に選ばれた「常呂川下流域の古代文化を解く」は、北海道オホーツク海沿岸の北見市常呂地区にある先史文化の遺跡群の発掘調査を紹介する端正な映像作品。東京大学チームによる半世紀以上つづく活動に頭が下がる。もう一作品、「学校で使える理科実験 絶対に入らない瓶の中に松ぼっくりを閉じ込める方法！ 松ぼっくりのびん詰め作りの方法と理由を解説しました。」は、自宅でもできる実験を短い時間でわかりやすく見せて、つくば科学万博記念財団理事長賞とのダブル受賞となった。

新技術振興渡辺記念会理事長賞の「ガリレオX 自己組織化 無秩序な世界から秩序を生みだす不思議なプロセス」は、「自己組織化」をキーワードに生物学や化学などの分野を軽々と超えて展開していくのが小気味よい。

科学技術館館長賞の「なぜ水星へ行くのは最も難しいのか？ 全惑星へのアクセス時間比較」は、パソコンでつくった動画として高い完成度があった。

第65回 科学技術映像祭審査委員会
副委員長 高橋真理子

NHKスペシャル

映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編

企画・製作：日本放送協会

語り：守本奈実／撮影：浅見織恵／音声：塩田貢／映像デザイン：橋本隆史／色彩復元：伊佐早さつき／VFX：神山秀
音響効果：古川千鶴／映像技術：徳久大郎／リサーチャー：藤岡ひかり／取材：池上敦子／編集：梅本京平、山崎健太郎
ディレクター：後藤遷也、三木健太郎／プロデューサー：伊川義和／制作統括：木村春奈、中井暁彦、寺園慎一



素材提供：毎日映画社

倒壊した家と人々 TV:49分

製作意図

関東大震災から100年という節目に、災害の全貌を明らかにし、その教訓を後世に伝えるために、映像記録の「決定版」を目指す。当時撮影された白黒フィルムを最先端の技術で「8K高精細・カラー化」。かつてない臨場感で震災を“現代と地続きのもの”と実感できる映像として蘇らせる。さらに、「飛び火火災」「群集事故」など関東大震災で発生し、かつ現代でも起きうるリスクについて、最新科学の知見にもとづく実験や映像分析により徹底検証することで、将来の巨大災害への備えにつなげることに貢献する。

シノプシス

日本の自然災害史上最悪の被害をもたらした関東大震災。その記録映像には、致命的な欠点があった。混乱の中の撮影で、撮影場所や時間が不明なものが多かったのだ。私たちは、その映像を最新の技術を使って高精細・カラー化。すると建物の形、看板、影、そして人の表情が鮮明に浮かび上がった。それらを手掛かりにワンカットずつ撮影場所と時間を特定した。一級の歴史資料として生まれ変わった映像に加え、生存者の生々しい証言音声、科学的知見を駆使して行った再現実験などによって、百年前の巨大災害を追体験する。

受賞に際して

関東大震災の教訓を一人でも多くの人に伝えることで、将来の地震による被害を軽減させることができないか。そんな思いで制作したのが、本番組でした。当時のカメラマンたちが決死の覚悟で撮影し、残してくれたフィルムですが、これまでは不鮮明な白黒映像でしか見られませんでした。今回、最先端の技術で高精細カラー化すると、臨場感が増すだけでなく、驚くほど多くのことが読み取れることが分かりました。その一つ一つが百年前の人々からのメッセージだと感じました。地震災害から逃れることはできませんが、科学には未来のために過去の災害から教訓を導き出す力があります。映像の分析や実験にご協力いただいた研究者の方々、後世に残るような番組にするために力を尽くし、情熱を傾けてくれた多くの制作スタッフの皆様に感謝しております。この度はこのような榮譽ある賞をいただき、厚く御礼申し上げます。

(日本放送協会 チーフ・プロデューサー 木村春奈)

作品情報

<https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/episode/te/2G7MM8PR4G/>

ガリレオX 地衣類の世界 身近な謎多き生命体

企画・製作：ワック株式会社

ディレクター：森口郷志／アシスタントディレクター：新井匠

プロデューサー：太田洋昭／研究者：大村嘉人、近芳明、河野美恵子、宮澤研人



コンクリートのシミ汚れのように見える地衣類、しかしルーペで見ると… TV:25分

製作意図

番組の題材となっている地衣類は、菌類と藻類の共生体。アマゾンの奥地から近所のコインパーキングまで生息するような、ありふれた生き物で、実際その姿を見ても「これって汚れじゃなかったんだ…」と思うほど地味な見た目の生き物です。

しかし実は、地衣類がどのように生きているのか、未だよくわかっていません。

そんなとっても地味な謎の生物「地衣類」の世界を知ってもらい、日常の中にはまだまだ未知が広がっており、またその研究に情熱を注ぐ人々がいることを伝えたく制作しました。

シノプシス

日常の風景の片隅に、未だ謎が多く残る生物がいる。それは植物とも動物とも言い切れない、なんともあやふやな生命体“地衣類”。

その生息範囲は極めて広く、南極から砂漠、ジャングル、そして都会の中まで生息している。まさにどこにでもいる生物なのだが…実は、その生態は未だよくわかっていない。

いったい地衣類とはどのような生物なのか？誰もが目にしたことのある謎の生命体“地衣類”に注目し、日常の中に潜む別世界を覗く。

受賞に際して

「謎の生命体・地衣類」というと、秘境に生息し、見たことのないような珍しい姿かたちをした生き物を想像されるかも知れません。しかし地衣類は、どこにでも生息し、誰もが見たことのあるような姿をした、とっても地味な生命体です。

ところが、ルーペを覗き込み地衣類を間近に見ると、そこはまるで別世界。謎の生命体に相応しい摩訶不思議な姿かたちが見て取れます。

普段の生活の中に存在しているにも関わらず、気づかぬうちに通り過ぎてしまう地衣類という存在。

賞を頂いたことをきっかけに、地衣類の中に広がる魅力溢れる世界を、多くの方に知っていただく機会を得たことは、科学番組を作る者としてこの上ない喜びでございます。

この度は栄えある賞を頂き心より御礼申し上げます。

(ワック株式会社 ディレクター 森口郷志)

作品情報

<https://www.web->

wac.co.jp/program/galileo_x/lichen

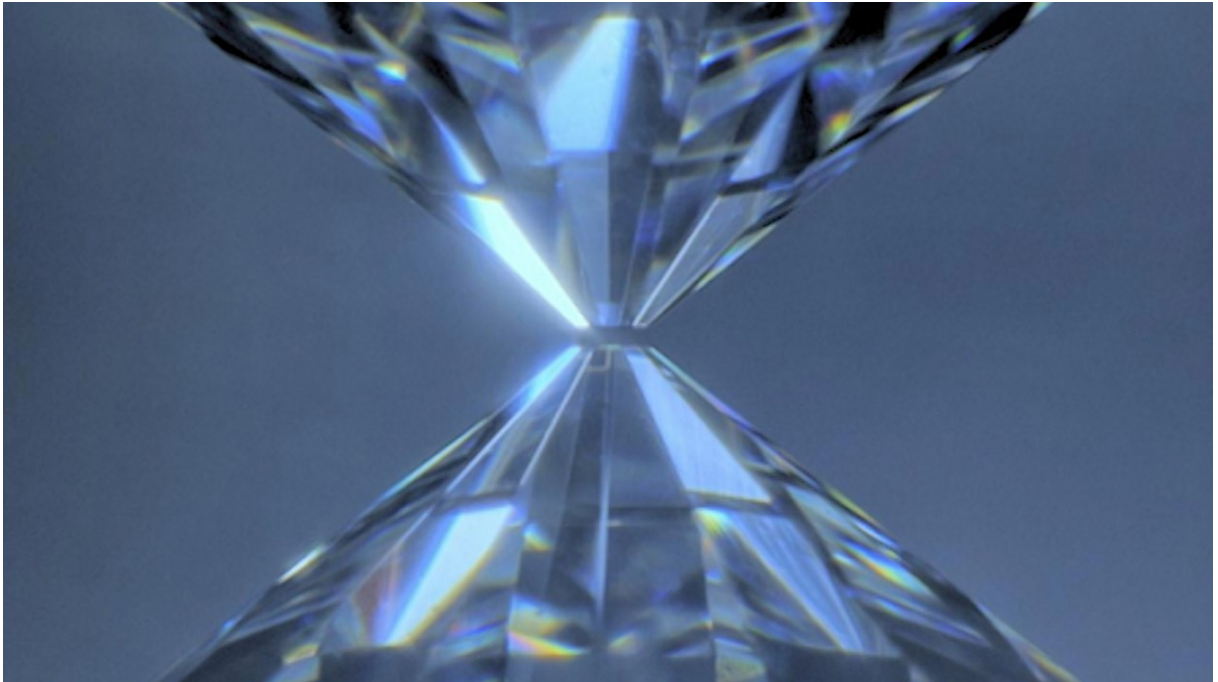
居間からサイエンス ～地球誕生の謎に迫る！地下2600キロの大発見

企画・製作：株式会社BSテレビ東京

ナレーター：若杉亨／構成：間マサムネ／カメラ：大手洋行／音声：渡邊紘輔

照明：爲貝幸弘／編集：小櫃利朗／MA：柞山京一／AD：西田拓哉

ディレクター：増田貴光／プロデューサー：武田仁、林祐輔、徳光崇臣



試料をダイヤモンドの間にはさんで100万気圧以上をかけることで、地球内部の状況を実験室で再現 TV:45分

製作意図

成功し大金持ちとなった起業家が宇宙に行く時代がやってきた。今度は月へ行こう！さらに火星や木星に探査機を！宇宙開発がますます注目を浴びている、、、しかし、我々は「地球」のことをどこまで知っているのだろうか？我々が活動する地球の表面ですら、わからないことがまだまだ沢山ある。ましてや地球の内部に至っては謎だらけ。地震、火山の噴火など生活に直結する現象にもつながる地球の内部に関心を向けてみよう！そこを理解することは、地球誕生の謎、そして火星の謎にも迫ることができるのだ。

シノプシス

地球の内部構造について研究している東京大学 廣瀬敬教授がゲスト。

地下2600キロよりも深いマントルの底が「ポストペロブスカイト」という物質でできていることを発見し、地球科学史において30年ぶりの大発見として世界中を驚かせた。地球の中を知ること、その成り立ちや生命誕生の謎が解き明かされていく。地球の中心には海の50倍の水が存在する、また火星に生命が存在する可能性があるなど独自の説を提唱している廣瀬教授。ダイヤモンドを使った特別な装置で驚きの発見を続ける教授にとことん迫った。

受賞に際して

今年の冬は異様に暖かい。地球温暖化がどこまで関係しているかは定かではないが、多くの人は感じているはずだ、このままではマズイと、、、そんな不安に応えられるのは「科学の力」である。そして、科学技術がどこまで進んでいるかを知ることである。我々が暮らしているこの地球には、まだまだ知らないことが沢山ある。知的好奇心は、不安を和らげるだけでなく、新しい世界を広げていく。今回の番組は、地面の奥深く、という身近だけでも知らない世界をとことん掘り下げた。月、火星、木星…昨今、宇宙開発のニュースは世界を駆け巡り、注目を集める。しかし、我々の足元、地球内部に目を向ければ、生命誕生の謎にまで迫れるのだ。地球内部構造だけをテーマに1時間番組をつくるという類まれな試みが評価されたのだとすれば、制作者冥利に尽きる。

(株式会社BSテレビ東京 制作部長
番組プロデューサー 林祐輔)

作品情報

<https://www.bs->

[tvtokyo.co.jp/imakara_science/lineup/202310/27500_202310042200.html](https://www.bs-tvtokyo.co.jp/imakara_science/lineup/202310/27500_202310042200.html)

ダーウィンが来た！ 生きものの不思議を解き明かせ！ 子ども研究者スペシャル

製作：株式会社NHKエンタープライズ／企画・委託機関：日本放送協会

製作：足立泰啓、渡辺一教／演出：松尾知明／撮影：佐々木寛之

研究者：森山実、一寸木肇



子ガニを抱いた親ガニを発見！ TV:28分

製作意図

生きものの謎をみずから解明したいと調査・研究に取り組む子どもたちをダーウィンが来た！取材班が全力サポート。自分だけでは行けない夜のフィールドで動物を観察したり、生きものの撮影ノウハウを学んだり。全国の子どもたちから研究計画を募集。子ども自身の主体的な発想を大切にしながら、番組スタッフや専門家が助言を行い、子どもたちの「見たい・知りたい」という熱い思いをお手伝いする。そして挑戦と研究の過程をつぶさに追う。子どもたちの目を通し、身近な生きものの魅力や不思議を改めて伝える。

シノプシス

身近な生きものを自由な発想で調べる「子ども研究者」を大特集。セミを研究する小学6年の山口りかさん。土の中から出てきた幼虫が羽化する木をどうやって選ぶのか調べるため、総勢24名の大調査隊を結成。研究者も驚く新事実が明らかに！家で飼育するサワガニを繁殖させて、赤ちゃんを見たいと願う小学6年の喜多恵子さん。しかしサワガニの繁殖は研究施設でも成功例の少ない超難関ミッション。そこで専門家とともに溪流で野生のサワガニの暮らしを観察。繁殖を成功させるヒントを探る。果たして結果は？

受賞に際して

大人は気にも留めないありふれた生きものの行動も、子どもたちにとっては不思議がいっぱい。実は、そんな見落としがちな身近な自然にこそ、大いなる謎が潜んでいるんです。調べている研究者もほとんどいない“フロンティア”に着目し、謎の解明に挑む子どもたち。「なんで？どうして？」をきっかけに、何にも囚われず自由な発想でさまざまな実験を試みます。原動力は「見たい！知りたい！」。失敗しても結論が出なくてもへこたれません。まさにサイエンスの基本を実践するその根底には、「生きものが大好き」という純粋な気持ちが溢れていました。昨今、子どもの理科離れが問題視されています。取材中、子ども研究者の頼もしい姿に勇気づけられると同時に、制作者として、全国の子どもたちへ自然の魅力を発信することの意義を、改めて考える番組となりました。今回は栄えある賞をいただき、スタッフ一同心より御礼申し上げます。

(株式会社ゼロステーション ディレクター 松尾知明)

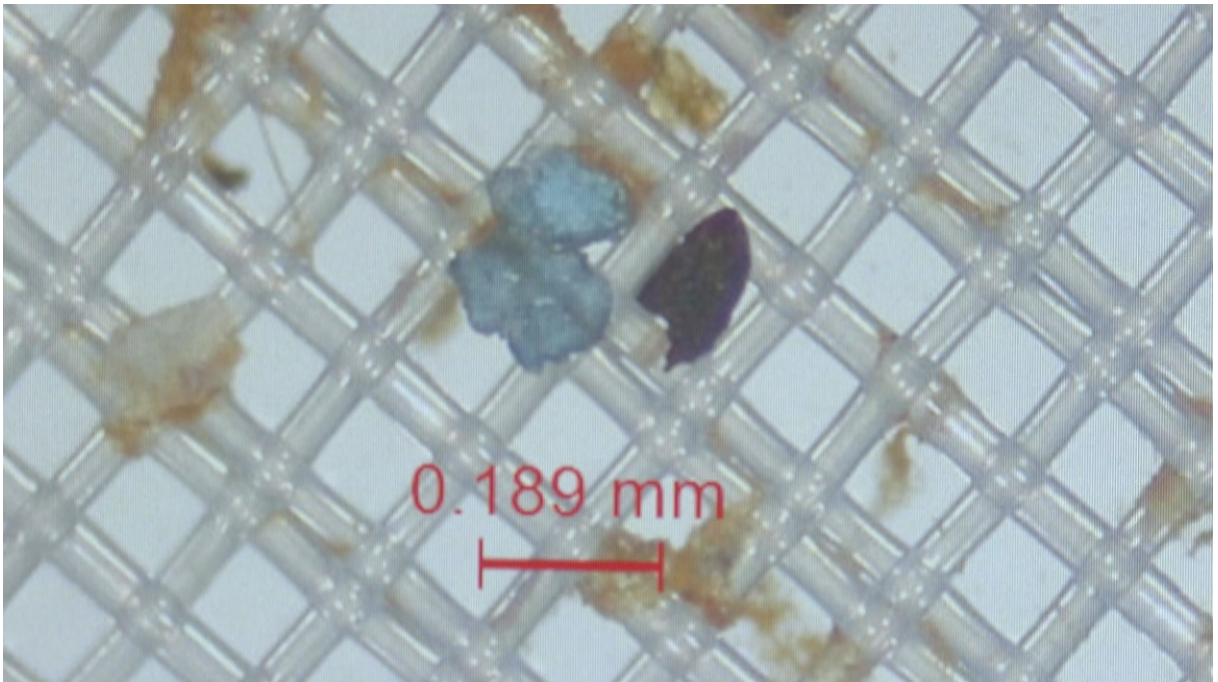
作品情報

<https://www.nhk.jp/p/darwin/ts/8M52YNKXZ4/episode/te/KXRKPKZ157/>

テレメンタリー2023 プラスチックの行方 ～「水の国」からの警鐘～

企画・製作：熊本朝日放送株式会社

ディレクター：泉田寛典／撮影：松木慶治



地下水から検出されたマイクロプラスチック（顕微鏡） TV:25分

製作意図

プラスチックの問題は海ばかりに着目しがちだが、空気や地下水など私たちのごく身近な場所にまで迫っている。そしてすでに生態系に影響を及ぼし始めている。一方で私たちはSDGsを謳いながらも、生活の多くをプラスチックに支えられているといっても過言ではない。医療器具や車のタイヤなど代替が効かないものも多い。研究者の一人は世界中の人々が、何をどこまで許容するか「社会的合意形成」が重要だと話す。視聴者とともにこの問題を考えるきっかけとなる番組を制作したいと考えた。

シノプシス

「水の国」熊本の地下水にマイクロプラスチックが混入していることが国内で初めて確認された。海洋汚染ばかりが注目されてきたプラスチックの問題だが、すでに私たちの身近な場所にまで迫ってきている。この問題をきっかけに科学者への取材を進めると、私たちが日常的に使用しているあるプラスチック製品に含まれる化学物質が生物の大量死を引き起こしている事例も明らかになった。

プラスチックに頼り切った生活を続けている私たちは、この問題とどのように向き合うべきなのか。

受賞に際して

マイクロプラスチックが世界各地で問題になっていることは知っていましたが、熊本の誇る「地下水」からも検出されたという研究結果を聞き、衝撃を受けたことが今回の番組制作のきっかけとなりました。熊本は半導体受託製造世界最大手TSMCの進出でも話題にあがりますが、地下水が豊富な「水の国」です。この地下水を私たちは水道資源として日々利用しています。だからこそ、放送の仕方によっては過剰に不安をあおり、伝えたいことが正しく伝わらないのではと考え、科学者の研究に裏打ちされた、科学的な事実のみが伝わるように心がけました。遠く離れた海だけの問題ではなく、私たちの足元にまで迫っているこのマイクロプラスチックの問題。見ていただいた方々に少しでも考えるきっかけになっていただければ幸いです。

最後にはなりますが、このような栄えある賞を頂戴し、誠に光栄に思います。スタッフ一同心よりお礼申し上げます。
(熊本朝日放送株式会社 ディレクター 泉田寛典)

作品情報

<https://www.kab.co.jp/plastics/>

所さんの目がテン！ かがくの里 フクロウプロジェクト

企画・製作：日本テレビ放送網株式会社／制作協力：厨子王株式会社
製作：似鳥利行／演出：望月亮／ディレクター：黒田沙季／研究者：守山拓弥



フクロウの子育て TV:72分

製作意図

当番組は、教育番組として科学を身近に感じてもらえる様々な企画を35年にわたり放送してきた。当該企画「かがくの里」は、科学者たちが荒廃した里山の再生に取り組むシリーズ企画である。里山は生物多様性の保全上、重要な地域だが、近年、都市化の進行、高齢化などの影響によって荒廃が進む。番組の呼びかけに応じた、農学、林学、水産、昆虫など様々な専門家が、10年をかけて整備を続けると、生物多様性が増してきた。当該放送は、里山の生態系の頂点にいるフクロウを森に呼び戻すプロジェクトの集大成である。

シノプシス

フクロウは生態系のバランスを整える役割を持つ。里山再生の一環として「かがくの里」への定着を図るとともに、フクロウの自然な生態を映像にとらえるため、農村生態系の専門家指導の下、裏山に7か所巣箱を設置し、赤外線カメラを十数台取り付けて24時間撮影できる態勢を整えた。プロジェクト開始から3年半、ついに去年、産卵から子育て、巣立ちまでの撮影に成功した。3週にわたって放送した特別編は、厳しい自然界を生き抜く野生生物の姿をとらえた感動的なもので、科学技術による社会貢献の一例を示している。

受賞に際して

私たちは2014年から里山再生に取り組み、手入れがされていなかった森の間伐を進めてきました。森を見た里山生物の研究者によれば、「巣箱を置けば、フクロウが来るのではないかと」のこと。半信半疑で巣箱を置くと、1年目にして羽根などの痕跡を発見。そこで巣箱を増やし、営巣の可能性の高い巣箱に観察用カメラを設置しました。しかし…2年後、フクロウが産卵したのはカメラを設置していない別の巣箱でした。カメラを増設し、去年、ついに産卵から子育て、巣立ちまでを撮影することができました。そこには、ヒナのために懸命にエサを運んでくる親鳥の姿など感動的なシーンが映っていました。撮影にかかった期間は3年半。私たちが心がけたのは「野生生物の撮影に余計な演出は施さず、ただ見守る」ということでした。研究者や地元の協力者と共に取り組んだ成果に今回、栄えある賞をいただきスタッフ一同心より御礼申し上げます。

(厨子王株式会社 ディレクター 黒田沙季)

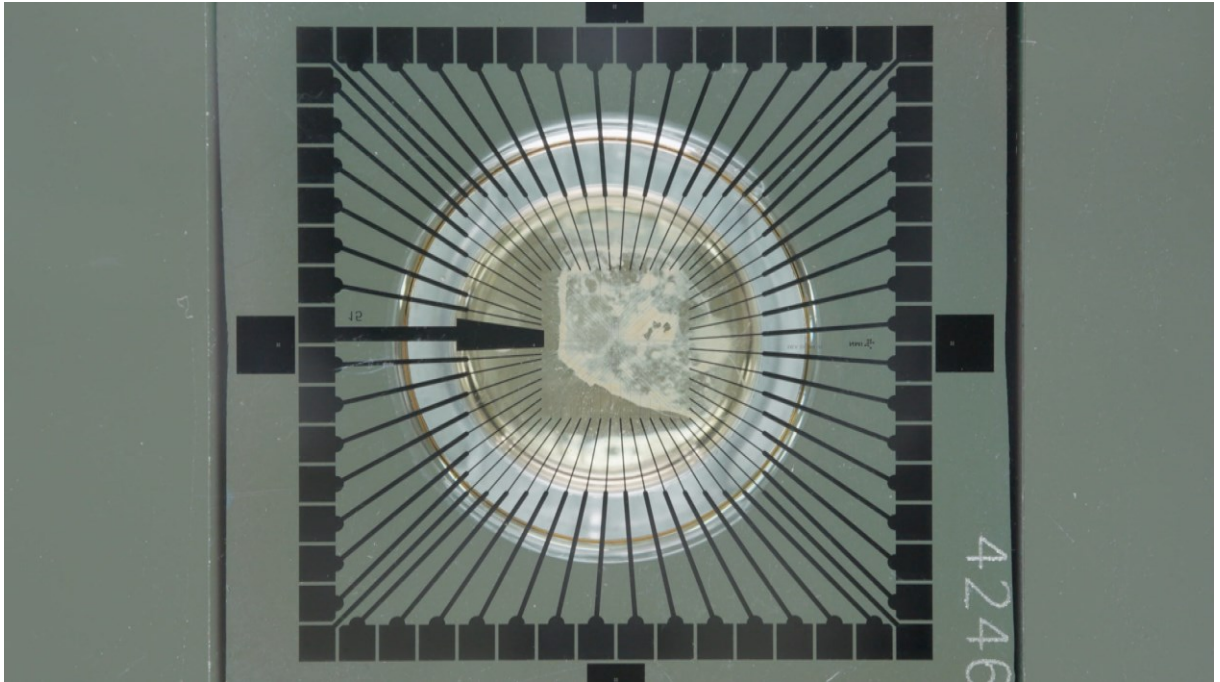
作品情報

<https://www.ntv.co.jp/megaten/>

フロンティア 人間の知能は作れるか ～A I 究 極の知能への挑戦～

企画・製作：日本放送協会

語り：オダギリジョー／撮影：小迫裕之／照明：平岡翔太／音声：鈴木ひとみ
映像技術：太田智之、小田島寧音／音響効果：小堀博孝／映像デザイン：阿部浩太
CG：大島貴明、二ノ方誠一／編集：荒川新太郎／取材：島田尚朗
ディレクター：仁木島健一、前田俊介／プロデューサー：大坪太郎／制作統括：白川裕之



驚異のスピードでゲームをプレイ！“脳細胞×コンピューター”の新型AI TV:59分

製作意図

世界を急速に変えつつある人工知能AIの開発。しかし、その最前線に立つ科学者たちにもまだ解けない根源的な問いがある。AI研究最大の謎「知能とは何か？」。取材を進めると、その問いへの“最先端の洞察”が浮かび上がってきた。番組では最新AIの開発現場にカメラを入れ、AI研究の視点からこそ見えてくる「知能の本質」にことごとん迫った。各分野の研究者への徹底インタビューをベースにアカデミックな視点から迫り、多面的にあぶりだす。“知能を作ること、人間を理解する”その最前線を描くことに挑んだ

シノプシス

ChatGPTを超え、人間の知能に匹敵する“究極の人工知能”の開発が世界中で進んでいる。番組は、生成AIを組み込んだ最新AIロボットとガチンコ対談！漫画の神様・手塚治虫の『ブラック・ジャック』の新作をAIが作り出すプロジェクトへの密着から、歩き方を教えなくても勝手に歩き出す驚異の身体能力を持つAIロボット、脳細胞とコンピューターを融合させた次世代AIまで。創造性、身体性、生命進化・・・最先端のその先に、人間自身の知能の驚くべき本質が見えてきた。

受賞に際して

ニュースで見ない日はない、AI関連の話題。しかしその殆どが、産業的な話題や、社会実装にむけた課題ばかりです。しかし、フロントランナーたちへの取材から見えてきたのは、「人工知能」という学問は、意外にも「哲学」と表裏一体なのだという事実。研究者全員が「人間の知能とは何かを、自らの手で作り出すことで理解したい」と熱弁するのです。だからこそ今、世界を席卷するAIの急激な進化を、「知能とは何か？」という側面から見つめなおしてみたい。そんな思いから、今回の番組を企画しました。映像化の難しいテーマだけに、人間だけでなく“AIご自身”にも議論に加わっていただきながら、撮影から編集に至るまで、スタッフ全員の力を合わせて作り上げました。今回の賞をいただき、制作に携わった人間およびAI一同、心より厚く御礼申し上げます。

（日本放送協会 ディレクター 仁木島健一、前田俊介）

作品情報

<https://www.nhk.jp/p/frontiers/ts/PM34JL2L14/episode/te/4YMKYLR6J1/>

THE MAKING

(326) 通販の荷物がとどくまで

製作：株式会社日テレ アックスオン
企画・委託機関：国立研究開発法人科学技術振興機構
製作：石井隆、桧山一三男／演出：高瀬徹／撮影：高瀬徹
音楽：有限会社カロツツア



梱包された荷物が出荷先によって自動で振り分けられていくようす インターネット等で配信されている動画:14分

製作意図

産業革命以降、工業生産技術は日々高度化し、身近な製品であってもその生産プロセスを想像することが難しくなった。本シリーズは、製品や食品の生産プロセスを余すことなく見せることで、視聴者にもものづくりのたゆまぬ工夫や科学技術を伝える。本作はシリーズでは異色となる、個人宅配の物流システムを描く特別編。配送システムを「ものづくり」として捉え、1998年以降320作品を超えるシリーズに新しい視点を持たせる狙いがある。近年は、Web上でのリアルタイム公開を通じた視聴者同士の対話も重視している。

シノプシス

ほしい商品を注文すると、早ければ翌日には届くインターネット通販。物流倉庫に入荷された商品は、ロボットにより倉庫の決められた位置に自動で「棚入れ」される。注文が入ると、商品は倉庫から運び出され、人の手やロボットによるピッキングや梱包を経て、注文した人の元へと出荷される。

受賞に際して

原料や材料から製品が作られる過程を描く「THE MAKING (ザ・メイキング)」は、1998年の制作開始から累計329作品(2024年3月現在)を数える長寿シリーズです。情報通信技術の普及などがあったこの25年間、「ものづくり」の概念は大きく進化、多様化していきました。こうした背景を受け、ソフトウェアやサービスなどを「新しいものづくり」と捉えて、シリーズの視点を拡張しようと企画したのが特別編となる今作です。

整理されたライン、物流ロボットによるオートメーション化、仕組みを支える人たちにより作られたネット通販サービスは、これまで大切にしてきたものづくりの姿そのものでした。今後映像を通じて、科学技術や人類のたゆまぬ創意工夫の価値を伝えていきたいです。

最後になりますが、今作を含め25年間のシリーズを通じて製作に関わっていただいた多くの企業、製作スタッフ、視聴者の皆様に深く感謝申し上げます。

(国立研究開発法人科学技術振興機構
総務部ポータル課)

作品情報

<https://scienceportal.jst.go.jp/gateway/sciencechannel/b220601326/>

日本のチカラ 口福（こうふく）の献立 ～お腹と心を満たす嚥下食～

製作：山形放送株式会社
企画・委託機関：公益財団法人 民間放送教育協会
製作：三浦重行、雪竹弘一／ディレクター：沼沢諭



嚥下食の寿司（マグロ、鯛、タコ、サーモン、アジ、たまごなど） TV:26分

製作意図

老化や病気が原因で、食べ物をうまく飲み込めない人のために「嚥下食」という食事が 있습니다。安全面が優先されるため、細かく刻まれていたり、ドロドロになっていたり、食材の原型を留めていないのがほとんど。栄養は効率的に摂取できますが目では楽しめません。でも、そんな嚥下食を一変させる料理人がいます。調理にかかる手間は通常の倍以上。このご時世、やれ低コスト・時短だと叫ばれていますが完全度外視。嚥下食を通して「食べる幸せ」を見つめます。

シノプシス

物語の舞台は、過疎・高齢化が進む山形県。宿泊施設で料理長を務める延味克士さんは、一味違う嚥下食をこしらえます。4年前から医療・介護従事者たちと手を組み、舌と目でも楽しめる新しい嚥下食作り挑戦。介護現場からの声を、料理人が形にし、それを医療目線で確認してもらい。レクチャーと試作を重ね、これまで考案した献立は約20種類を数えます。年を重ねても、障がいがあっても、食べる幸せを届けたい。まだまだ道半ばですが、東北の田舎町で少しずつ嚥下食の輪が広がっています。

受賞に際して

このたびは栄えある賞を頂き、取材・製作にご協力いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。

嚥下食に出会ったのは、グルメ番組のネタを探している時でした。無知だった私は「ちょっと変わり種のグルメ」を見つけたという印象。

改めて調べてみると…。我ながら情けなく恥ずかしい思いが込み上げてきたのを覚えています。舌と目でも楽しめる嚥下食は、飲み込みやしゃくに難がある人が食べる喜びを取り戻し、家族全員が同じ食卓で同じような食事を楽しむことができます。番組の放送を終えると、私の考え方は大きく変わりました。嚥下食は「グルメ」で間違っていない。一般的な料理と同じく、テレビや雑誌で当たり前で紹介されてもよいと思うようになりました。

日本の高齢化率は世界一。これからの時代、ますます「食のバリアフリー」が求められます。家庭や外食先で嚥下食が当たり前になる社会が早く実現することを切に願います。

（山形放送株式会社 ディレクター 沼沢諭）

作品情報

https://www.minkyo.or.jp/program/nippon_no_chikara/339/

目撃者 f リンゴ飴のこえ ～難聴って、なんなん？～

企画・製作：株式会社福岡放送

プロデューサー：尼崎拓朗／構成：日笠昭彦／ナレーション：染矢すみれ
撮影：浦田清寛／編集：田中宏治／美術：森光直人／ディレクター：岩浦芳典



アプリ「Hearloss」(ロンドン大学)により難聴者の聞こえの一例を再現 TV:48分

製作意図

「補聴器をつけていれば聞こえる」こう考える人は少なくないのではないのでしょうか。これは誤った認識ですが、ほとんどの人がその事実を知りません。福岡では聴覚に障害を持つ人たちが中心となって働くリンゴ飴専門店がオープン。彼らが伝えたいことは、「環境さえ整えば障害関係なく、みんなが平等に力を発揮できる」ということ。理解することで生まれる新たな可能性とそこに広がる笑顔。見た目では分かりにくい「難聴」から、「多様性を認める持続可能な社会」の課題と未来を考えます。

シナプシス

福岡市内にオープンした「あっぷりてい」。スタッフとして働くのは、耳に補聴器をつけた難聴の人たちです。店内には音声認識ソフトが設置され、注文は指さして行います。聴覚障害のある人たちが一から店を作りあげていきます。

「なんちようなんなん～♪」優しい歌声と明るいメロディーで難聴への理解を促す動画が2021年、福岡市で誕生。発起人の男性は勤めていた会社を辞め、企業や学校など社会と難聴の人をつなぐ活動をスタートさせます。

福岡で広がる難聴理解の輪。全国でも珍しい新たな挑戦を取材しました。

受賞に際して

目には見えない「音」をテレビとしてどう扱うことができるか。そして、どうすれば「難聴」という特性を理解してもらえるか。このドキュメンタリー番組を制作する上で一番頭を悩ませた点です。視聴者の多くは耳が聞こえる健聴者。難聴の方々が抱える悩みや思いを身近に感じてもらうためには、少しでも難聴の世界に触れてもらう必要があると考えました。多くの補聴器会社にご協力いただき、ロンドン大学の開発したシステムを使うことで、番組では【難聴者の聞こえの一例】を表現しています。

今回、このような栄えある賞をいただき、多くの方に「難聴」を知ってもらえる機会となったことにスタッフ一同、厚く御礼申し上げます。番組内に登場するアニメやアプリは全てが無料で公開・利用できるものです。番組を通して「難聴」の特性と、具体的なコミュニケーション方法を知っていただけたら嬉しいなと思います。

(株式会社福岡放送 報道局報道部
ディレクター 岩浦芳典)

作品情報

<https://www.fbs.co.jp/movie/f/lkOs6ZIBKYI>

常呂川下流域の古代文化を解く

製作：北海道映像記録株式会社

企画・委託機関：東京大学大学院人文社会系研究科附属

北海文化研究 常呂実習施設

製作：北海道映像記録株式会社／脚本：高橋成治／演出：高橋成治／撮影：小野寺雅美



トコロチャシ跡遺跡群の発掘調査 インターネット等で配信されている動画:17分

製作意図

北海道のオホーツク海沿岸に位置する北見市常呂地区。ここを流れる常呂川下流域には、先史文化の遺跡群がある。

東京大学常呂実習施設の半世紀以上にわたる継続的な発掘調査により、それが国内有数規模の遺跡群であること、縄文文化から考古学上のアイヌ文化に至るまで途切れることなく連続的な遺跡群であることが判明した。この動画は常呂川下流域の発掘調査の歩みとその成果を紹介するために製作された。

シノプシス

「スグユク アトフミ」1956年、一通の電報が常呂町の大西氏のもとに届いた。彼の熱意が東京大学考古学研究室教授に伝わったのだ。その翌年から東京大学による発掘調査が始まり、現地には研究拠点施設が整備された。調査の成果により遺跡群は国指定の史跡となった。国の重要文化財となる出土品も多く、北海道の歴史と文化の研究が現在も続いている。

受賞に際して

北海道、オホーツク海沿岸の北見市常呂地区(旧常呂町)には国内有数の遺跡群があります。しかし、そのことは地元の北海道民ですら広く知られているわけではありません。恥ずかしながら私もこの遺跡群をよく知らなかった一人。一通のメールをいただいたことをきっかけに、東京大学大学院熊木教授のご指導の下、二人三脚で映像制作を進めてきました。当初は概要を5分程度で紹介することを目標としていましたが、その詳細を少しずつ知るうちに、最小限の情報として17分となりました。それでも表面を少し撫でたくらいの感覚です。1万年以上にわたって継続的に人々はなぜこの地を暮らしの場としてきたのか？お近くを訪れる機会があるようでしたら、少し足を延ばして、この地を感じていただければ幸いです。今回このような栄えのある賞をいただき、スタッフ一同より厚く御礼申し上げます。

(北海道映像記録株式会社 ディレクター 高橋成治)

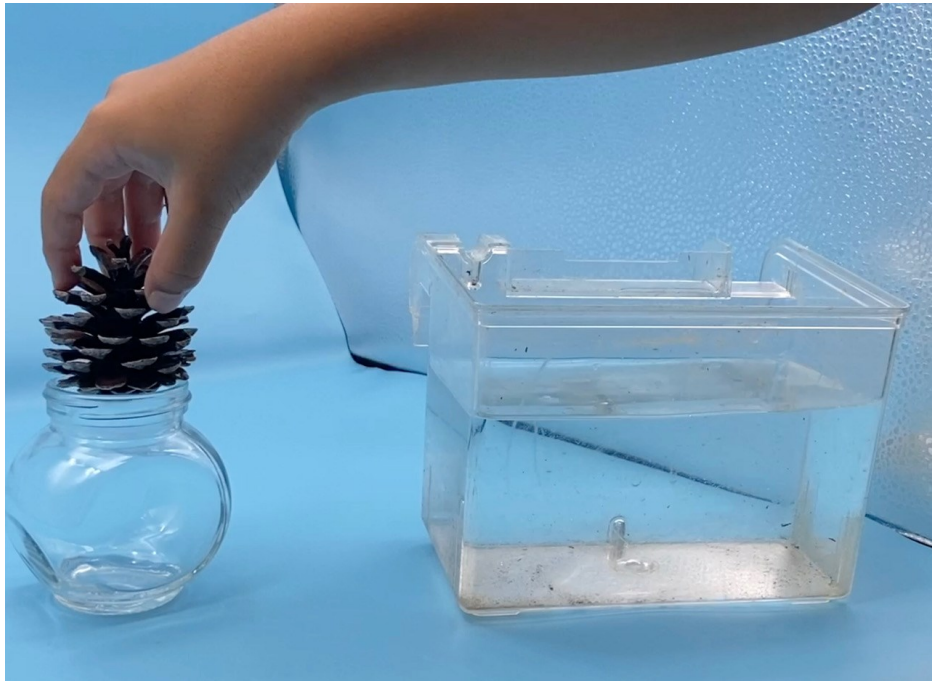
作品情報

https://www.youtube.com/watch?v=t0iLRp_H3pU

学校で使える理科実験
絶対に入らない瓶の中に松ぼっくりを閉じ込める方法！
松ぼっくりのびん詰め作りの方法と理由を解説しました。

企画・製作：NPO法人教師と子どもの支援活動

製作：蔭西孝



水に浸した松ぼっくりを瓶の上に置くと松ぼっくりが吸い込まれる
インターネット等で配信されている動画:6分

製作意図

松ぼっくりが閉じるのは子孫と自分のためである。
瓶詰め作りをしながら、松ぼっくりの生存戦略に想いを馳せることができる動画。

晴れの日には遠くまで自分の子孫となる種を飛ばすために獲得した松ぼっくりの性質を知ること、生き物が生き残るために獲得してきた性質について考えをめぐらせてほしい。

シノプシス

松ぼっくりの瓶詰めをできるだけ早く作る方法を考える。
どれくらい濡らせば縮むのか。

そこを科学的に研究した後に、なぜ縮むのかを解説する。
濡らす時間による開き方の違いを比較する箇所は必見。

受賞に際して

「子どもの目が輝く理科授業がしたいけど、時間がない。どうして良いかわからない。」という先生のために100本以上の動画を作ってきました。今回の松ぼっくりの瓶詰めはとても有名な実験ですが、私が初めて行なった時、水につけすぎたため、完成までに1週間近くかかってしまいました。現場の先生たちがもっと簡単にできるように、つける時間は「1秒で良い！」ということがわかりやすく伝える動画を作ってみました。また、ただ伝えるだけでなく、比較実験をし、わかりやすい数値で結果を出すなど小学校の理科で大切にされていることも要素として取り入れています。映像だからこそ伝わる分かりやすさと感動がある！今回、評価をいただき大変嬉しく思います。まだまだ紹介したい実験は山ほどあります。これからも楽しい理科動画をたくさん作っていきます。

(NPO法人教師と子どもの支援活動 蔭西孝)

作品情報

<https://youtu.be/qPAi6ObM1Xw>

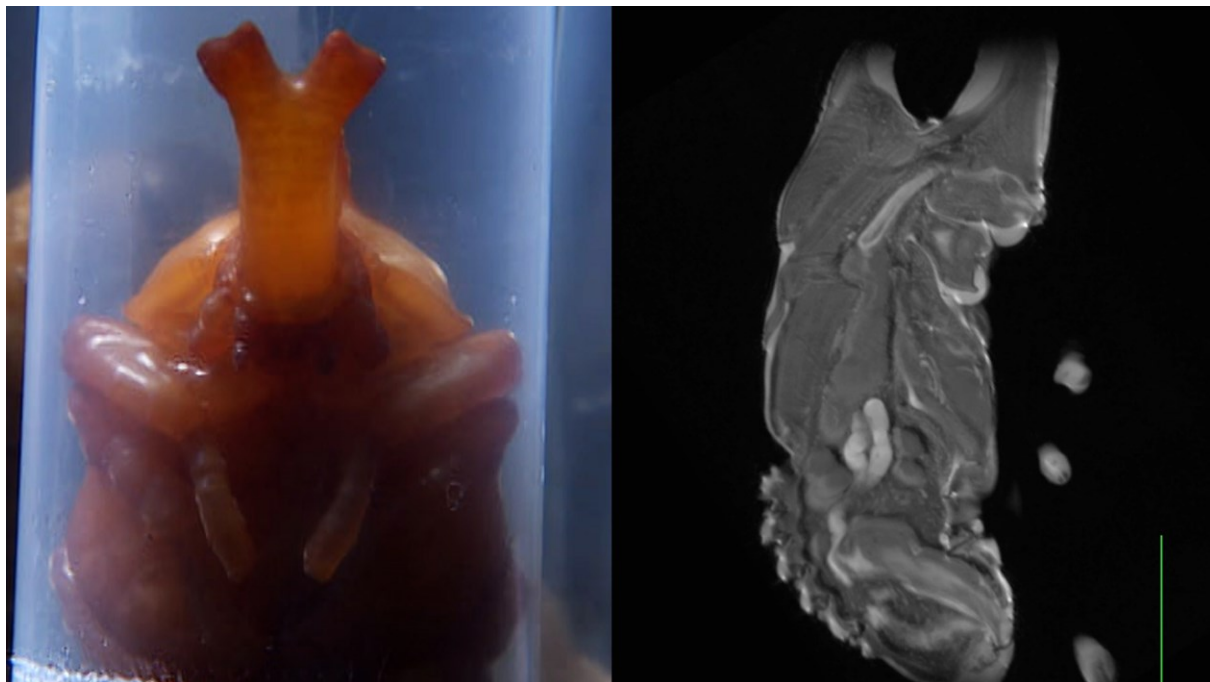
ガリレオX 自己組織化 無秩序な世界から秩序を生み出す不思議なプロセス

企画・製作：ワック株式会社

ディレクター：泉大知／AD：新井匠／プロデューサー：太田洋昭

撮影：本間秀幸、松本直幸、小野誠、中嶋啓人

研究者：有賀克彦、鳴海孝之、西森拓、黒田輝、池上聖人



カブトムシの蛹の自己組織化の観察 TV:25分

製作意図

始まりは「エントロピー」についての企画を考えている時でした。カブトムシの幼虫がサナギに変態し、成虫へと完全変態する過程をエントロピー、つまり無秩序さの度合いの変化で追っていくと、幼虫の体組織が一度崩壊しサナギの体組織へと変化するときに、自己組織化という現象が起きていることを知ったのです。そこから自己組織化とは？を探っていくと、自己組織化を操作する超分子化学や、ミツバチの巣の自己組織化建築、アリの分業労働の自己組織化に取り組む、実に興味深い研究者たちと出会い、番組となりました。

シノプシス

自己組織化と呼ばれる現象がある。分子などが外部からの制御や指示なしに自然に集まり、より複雑な形態や高度な構造を作り出す、物理的あるいは化学的なプロセスのことだ。例えば雪の結晶は大気中の塵を核に自己組織化され、生物の体組織や、巣などの構造物、さらには生物の分業のような社会的行動にも、自己組織化が関係するという。自己組織化を、将来的には超分子化学によって制御するナノ建築学の試みも始まっている。見えない所で、私たちの世界にあまねく起きている自己組織化の可能性を探求する。

受賞に際して

カブトムシが蛹の中でどうやって甲虫になるのか知りたい！というのは、昆虫好きの誰もが抱く好奇心です。でもそれは自分が幼虫や蛹になってみないとわからない環世界だと一度あきらめ、高校で書いたカフカの「変身」の読書感想文で、「ある朝起きると大きな毒虫になっていた青年グレゴールザムザ」に完全憑依したモノログを提出すると、大きな赤点という悪夢が生まれました。正気をやや取り戻した今、幼虫がまったく異なる姿へと完全変態する現象を生みだしているのは、物理的あるいは化学的な自己組織化というプロセスだと知り、好奇心が再燃。なんと分子の世界と生き物の世界とを繋いでいるのが自己組織化であり、生物が建築する構造物も自己組織化であり、社会性昆虫の分業労働も自己組織化シフトで決まる、という面白すぎる研究と研究者に出会い、番組にすることができました。この度は栄えある賞を頂きありがとうございます。

(ワック株式会社 ディレクター 泉大知)

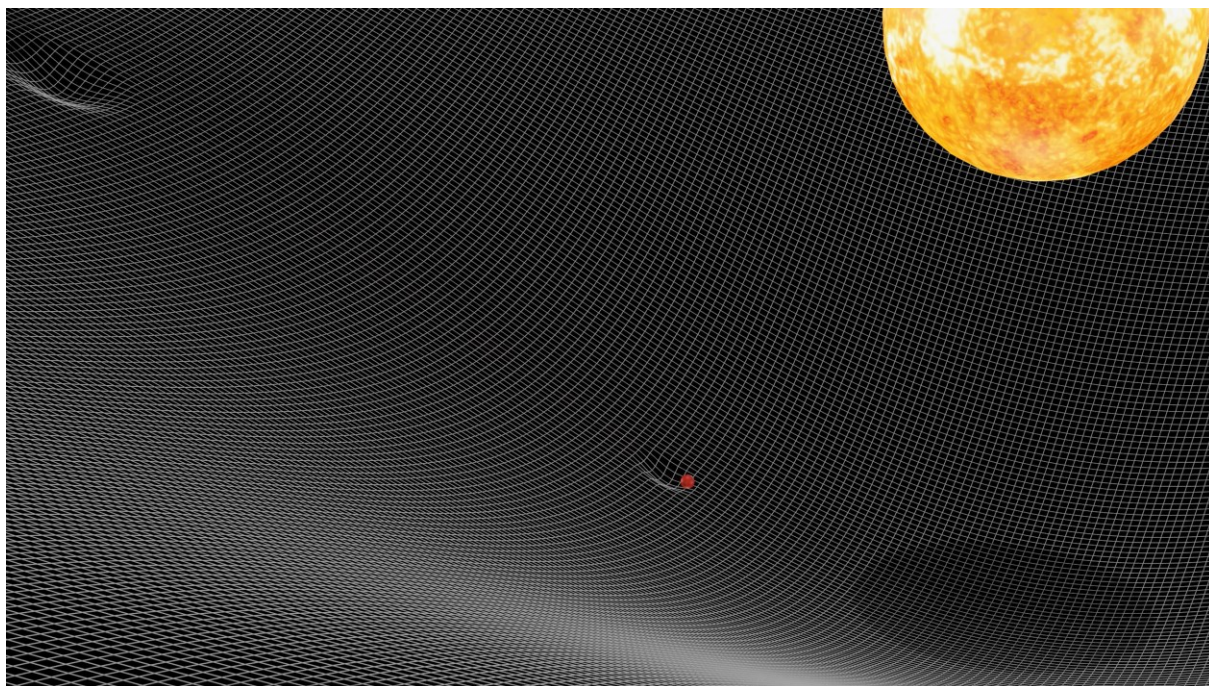
作品情報

<https://www.youtube.com/watch?v=81InDx4R7Hs&t=90s>

なぜ水星へ行くのは最も難しいのか？ 全惑星へのアクセス時間比較

企画・製作：午後正午

製作：午後正午



太陽と水星それぞれの重力井戸（メッシュで表示）を通過する探査機（赤丸）のイメージ図
インターネット等で配信されている動画:15分

製作意図

太陽系の惑星の中で、水星探査は非常に困難だと言われています。実際に、人類が水星に送り込んだ探査機の数、火星や金星に比べて圧倒的に少ないです。一方で、地球から水星までの距離は火星とそれほど変わりません。なぜ水星探査が難しいのか、各惑星へのアクセス時間の謎に迫ります。

シノプシス

人類が唯一踏み入れた地球以外の天体「月」。そんな月と比較して、火星や金星などの惑星は、はるか遠くに位置しています。天体が遠いということは、探査機の到達にもそれだけ時間がかかるということです。一方で、地球から比較的近い水星へ行くには、それよりもはるかに遠い木星へ行くよりもさらに長い時間がかかります。なぜ水星は思った以上に「遠い」のでしょうか？

受賞に際して

科学技術の進展に伴い、人類は宇宙をより詳しく理解することが可能になりました。一方で、通常私たちが想像する宇宙は、日常とは異なる別世界であり、その研究は単なるロマンと感じられるかもしれません。しかし、私たちが住む地球はこの宇宙に存在し、私たち自身もこの宇宙の住人であることを認識すると、その感覚が変わります。そう、もっと知りたいと抱く宇宙への興味は、宇宙の一部である私たち自身を解き明かしたいという、人間の非常に身近な好奇心から生まれているのかもしれません。その思いから動画制作を行っている中、今回のような名誉ある賞をいただき、恐縮でありながら非常にうれしく思います。全国の素晴らしい映像作品が集まる科学技術映像祭を開催されていていらっしゃる関係者の皆様にも厚くお礼申し上げます。

(午後正午)

作品情報

https://www.youtube.com/watch?v=_5exYQQ9NbU

第65回 科学技術映像祭 参加作品一覧

No	種別	題名	分数	製作機関 (企画・製作機関)	企画・委託機関
自然・くらし部門(14本)					
1	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	実験ノート 実験ノートNo. 1 納豆菌は胃酸にも強い	5	株式会社アイカム	全国納豆協同組合連合会
2	その他(DVD Blu-ray)	木洩れ日の詩 クモイトのシンフォニー	6	難波由城雄写真事務所	—
3	映画・ビデオ	防火・防災 作文アニメシリーズ 地しんだ！ ボクが学んだ命を守る行動	10	株式会社映学社	—
4	映画・ビデオ	自転車の安全 ここにも注意 家族全員がヘルメット着用	20	株式会社映学社	—
5	映画・ビデオ	洞爺湖誕生 11万年のSTORY	12	北海道映像記録株式会社	洞爺湖町役場 ジオパーク推進課
6	映画・ビデオ	僕の稲作は未来に向かって進む 岩手 遠野 青年夫婦の米作り奮闘記	78	僕の稲作は未来に向かって進む 製作仲間の会	—
7	テレビ番組	ガリレオX 地衣類の世界 身近な謎多き生命体	25	ワック株式会社	—
8	テレビ番組	テレメンタリー2023 プラスチックの行方～「水の国」からの警鐘～	25	熊本朝日放送株式会社	—
9	テレビ番組	峰竜太と考える！ 信州の防災減災 大雨に備える！	30	信越放送株式会社	—
10	テレビ番組	峰竜太と考える！ 信州の防災減災 大雪と寒さに備える！	30	信越放送株式会社	—
11	テレビ番組	チャンネル4 ほら吹き学芸員 闘う！骨の博物館	46	株式会社テレビ信州	—
12	テレビ番組	NHKスペシャル 映像記録 関東大震災 帝都壊滅の三日間 前編	49	日本放送協会	—
13	テレビ番組	メ〜テレ60周年 藤前干潟のキセキ ～“楽園”とごみの未来～	70	名古屋テレビ放送株式会社	—
14	テレビ番組	所さんの目がテン！ かがくの里 フクロウプロジェクト	72	日本テレビ放送網株式会社	—
研究・技術開発部門(15本)					
15	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	SDGsと研究 完全養殖ウナギはいつ食卓に？？シラスウナギ大量生産でSDGs！！	4	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	—
16	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	SDGsと研究 獲りすぎない努力！冬の味覚ズワイガニを守るために	8	国立研究開発法人 水産研究・教育機構	—
17	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	タングステン極細線 スترونワイヤー 「Respect for Spider」	4	株式会社大広WEDO	パナソニック エレクトリックワークス クリエイト株式会社
18	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	これが2030年代の情報通信技術だ！ NICT in けいはんなR&Dフェア2023	7	asym-line (屋号:アシムライン)	国立研究開発法人情報通信研究機構
19	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	一問一答！NICTの生成AI vs ICT研究者	9	asym-line (屋号:アシムライン)	国立研究開発法人情報通信研究機構
20	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	飛沫・エアロゾルシミュレーション～熱意と努力の舞台裏～	12	株式会社NHKエデュケーショナル	国立研究開発法人理化学研究所計算科学研究センター
21	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	JST研究倫理教育映像教材 「倫理の空白2」盗用編(人文・社会科学編)	26	テレビ朝日映像株式会社	国立研究開発法人科学技術振興機構
22	その他 (YouTubeと博物館やイベント等における展示映像としても使用している)	南極海鯨類資源調査 JASS-A	29	一般財団法人日本鯨類研究所	—
23	テレビ番組	ガリレオX 自己組織化 無秩序な世界から秩序を生み出す不思議なプロセス	24	ワック株式会社	—

No	種別	題名	分数	製作機関 (企画・製作機関)	企画・委託機関
24	テレビ番組	BSフジ放送科学テレビ番組「ガリレオX」 脳をつくる 人工培養された脳が拓く新たな科学	25	ワック株式会社	—
25	テレビ番組	居間からサイエンス ～地球誕生の謎に迫る！ 地下2600キロの大発見	45	株式会社BSテレビ東京	—
26	テレビ番組	居間からサイエンス ペロプスカイト太陽電池	45	株式会社BSテレビ東京	—
27	テレビ番組	フロンティア 人間の知能は作れるのか ～AI 究極の知能への挑戦～	59	日本放送協会	—
28	テレビ番組	カズレーザーと学ぶ。 宇宙人はいるか？人生観が180度変わる 最強天文 学者の衝撃新発見	60	日本テレビ放送網株式会 社	—
29	映画・ビデオ	The KAMUI IOMANDE or DIVINE DISPATCH commonly called The AINU BEAR FESTIVAL 日本語ナレーションによる再構 成版	63	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立 歴史民俗博物館	—
教育・教養部門(27本)					
30	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	学校で使える理科実験 10分で完成！磁石とアルミテープでリニアモーター カー作り！ 電気と磁力の関係がよくわかる！！	5	NPO法人教師と子どもの 支援活動	—
31	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	学校で使える理科実験 超絶簡単ペットボトルロケット！ 10分＆300円で超 簡単作り方and飛ぶ原理の説明。	9	NPO法人教師と子どもの 支援活動	—
32	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	学校で使える理科実験 絶対に入らない瓶の中に松ぼっくりを閉じ込める方 法！ 松ぼっくりのびん詰め作りの方法と理由を解説 しました。	6	NPO法人教師と子どもの 支援活動	—
33	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	かはくのいろは 【3分シダクッキング】クサソテツの天ぷら【かはくのい ろは 第8回】	9	独立行政法人国立科学博 物館	—
34	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	かはくのいろは 【日本初結実！！】検証！熱帯の植物「ショクダイオ オコンニャク」の果実を口に含むとどうなるか試してみ た！【かはくのいろは第9回】	12	独立行政法人国立科学博 物館	—
35	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	かはくのいろは 「植物園で育てたサトウキビから砂糖を作って、砂糖 入りの手作りチョコを作ってみた。」【かはくのいろは 第6回】	15	独立行政法人国立科学博 物館	—
36	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	総額7000万円で花火作って実験してきました！	13	株式会社GENKI LABO	—
37	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	福島原発処理水を毎日飲むとどうなるか・・・	14	株式会社GENKI LABO	—
38	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	ぶどうからワインを作ってエタノールを取り出しアル コールランプに火を灯してみる ポジョレーヌーボー 解禁	27	株式会社GENKI LABO	—
39	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	THE MAKING (326) 通販の荷物がとどくまで	14	株式会社日テレ アックス オン	国立研究開発法人科学技術 振興機構 総務部ポータル課
40	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	なぜ水星へ行くのは最も難しいのか？全惑星へのア クセス時間比較	15	午後正午	—
41	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	宇宙の正体と”超”対称性とは？26次元と光速を超 える粒子の謎	23	午後正午	—
42	インターネット等 で配信されてい る動画 (YouTube,HP等)	常呂川下流域の古代文化を解く	17	北海道映像記録株式会社	東京大学大学院人文社会系 研究科附属北海文化研究 常呂実習施設

No	種別	題名	分数	製作機関 (企画・製作機関)	企画・委託機関
43	インターネット等で配信されている動画 (YouTube,HP等)	Nプロジェクト わたしたちには文系理系関係ない ～先端科学と中等教育の融合に基づく科学的リテラシー涵養戦略～	36	大阪高等学校	京都大学
44	映画・ビデオ	SNSで巻き込まれる犯罪 危険を知って正しく使う	21	株式会社映学社	－
45	映画・ビデオ	笠木絵津子映像プロジェクト「現代物理への旅」 序章その1「湯川ホール」 相互作用する科学者たち	47	笠木絵津子事務所	－
46	映画・ビデオ	笠木絵津子映像プロジェクト「現代物理への旅」 序章その2「佐藤文隆」 原爆に導かれた人生	47	笠木絵津子事務所	－
47	映画・ビデオ	鯨のレストラン SDGsとクジラ	77	合同会社八木フィルム	－
48	テレビ番組	目撃者f 音のないピッチで夢を描く	26	株式会社福岡放送	－
49	テレビ番組	日本のチカラ 口福(こうふく)の献立 ～お腹と心を満たす嚙下食～	26	山形放送株式会社	公益財団法人 民間放送教育協会
50	テレビ番組	日本のチカラ 人形師 翔る ～父と子の追い山笠～	26	RKB毎日放送株式会社	公益財団法人 民間放送教育協会
51	テレビ番組	日本のチカラ 心、動かすAI	26	静岡放送株式会社	公益財団法人 民間放送教育協会
52	テレビ番組	ダーウィンが来た！ 生きものの不思議を解き明かせ！ 子ども研究者スペシャル	28	株式会社NHKエンタープライズ	日本放送協会
53	テレビ番組	マサックのスーパー実験室	30	青森朝日放送株式会社	日本原燃株式会社
54	テレビ番組	北宇和高校馬術部 ヴァリさんがのこしてくれたもの	45	南海放送株式会社	－
55	テレビ番組	チャンネル4 映画監督 山崎貴の世界	45	株式会社テレビ信州	－
56	テレビ番組	目撃者f リンゴ飴のこえ ～難聴って、なんなん？～	48	株式会社福岡放送	－

第65回 科学技術映像祭 開催要項

目 的

科学技術を正確にわかりやすく伝える優れた映像を選奨することにより、科学技術への関心を喚起するとともにその普及と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的とする。

行 事

- (1) 優秀作品の選定
- (2) 入選作品の表彰(科学技術週間行事)
- (3) 入選作品の発表

主 催

- (公財) 日本科学技術振興財団
- (公社) 映像文化製作者連盟
- (公財) つくば科学万博記念財団
- (一財) 新技術振興渡辺記念会

運 営

第65回科学技術映像祭運営委員会

- (1) 運営委員会は本行事に関するすべてのことを決定する。
- (2) 運営委員会は委員7名をもって構成する。

後 援

文部科学省、日本放送協会、(一社) 日本民間放送連盟、(一社) 日本新聞協会、(一財) 日本視聴覚教育協会、(一財) 経済広報センター、国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学館連携協議会、(公財) 民間放送教育協会

募集期間

2023年12月1日(金)～2024年1月15日(月) (必着)
※募集締め切りが例年より早まり、1月15日までとなりましたのでご注意ください。

応募資格

日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関・教育機関および個人が製作した作品。日本に所在を持たない場合でも、作品が日本国内で公開(放送、上映または販売)された作品は参加できる。

募集要件

- (1) 2023年1月1日から2023年12月31日までに完成した作品で本映像祭へ初出品であること。
※応募作品について完成・放映された日付の最終日が例年より早まり、2023年12月31日までとなりましたのでご注意ください。
- (2) 参加作品の上映時間は原則として90分以内。また、短編の作品も参加を歓迎する。
- (3) 一応募者からの総参加作品数は3本までとし、総上映時間は180分を限度とする。※総参加作品数が3本に減りましたのでご注意ください。
- (4) メディア
 - a. 映画・ビデオ
 - b. TV番組
 - c. インターネット等で配信・配布されている動画(YouTubeなどのSNSやHP等)
 - d. 博物館やイベント等における展示映像

注1: ヘッドマウントディスプレイ等特殊な機器を使わないと再生できないVRコンテンツ等は対象外とする。

注2: メディアについて応募に該当するかわからない場合は事務局に問い合わせること。

募集対象・部門

参加作品は、広く科学技術に関する映像とし、次のいずれかの部門に応募するものとする。応募の際には作品の該当する部門を、第1候補、第2候補として選択することとする。

(1) 自然・くらし部門

- a. 自然、環境、生物生態記録
- b. くらしの脅威(たとえば、防災、安全などに関するもの)や疾病の治療・予防に関する作品で、研究・技術開発部門に該当しないもの

(2) 研究・技術開発部門

- a. 最新の科学技術・産業技術および研究開発などを中心に、その現状と将来などの応用面を紹介した作品(たとえば、エネルギー、IT、AI、ナノテクノロジー・材料、機械、バイオテクノロジー、環境、農林水産分野などに関するもの)
- b. 大学・研究機関・企業等で製作された、自機関の研究・技術開発を広報するために製作された作品
- c. 基礎医学、臨床医学、歯学、薬学、保健の研究を紹介した作品
- d. 基礎研究および学術研究を紹介した作品(科学者・技術者が研究を進める手段として製作した映像や研究業績発表のために用いた映像を含める)

(3) 教育・教養部門

- a. 主に小学生、中学生、高校生および社会一般を対象として製作された作品で、物理、化学、地学、生物、技術・家庭(ものづくり教育を含む)、STEAM教育*など科学教育に関係する作品
- b. 科学技術の教養に関する作品。たとえば、技術史、考古学、人類学、評伝などに関するものを含む

*Science, Technology, Engineering, Art(s), Mathematics等の各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育のことである。

注: 大学・研究機関・企業等で製作された、自機関の研究・技術開発を広報するために製作された作品は、研究・技術開発部門に応募することが望ましい。

賞

- ・内閣総理大臣賞 1作品 (最優秀作品) 賞状および副賞(カップ)
- ・文部科学大臣賞 3作品 (部門各1作品) 賞状および副賞(楕)
- ・部門優秀賞 6作品 賞状
- ・つくば科学万博記念財団理事長賞 1作品 賞状および副賞(楕)
- ・新技術振興渡辺記念会理事長賞 1作品 賞状および副賞(楕)
- ・科学技術館館長賞 1作品 賞状および副賞(楕)

- ・特別奨励賞 賞状

※科学技術映像に関する新たな取り組みや、科学技術映像の活用による社会への貢献が顕著な作品に対し、特別奨励賞を贈ることができる。

賞は企画者(含むスポンサー)および製作者それぞれに贈る。

審 査

(1) 審査方針

本映像祭は科学技術の普及と向上並びに科学技術教養の向上を目的とするとともに、科学技術と社会との関わりがより一段と深まっている現在の状況を踏まえ、科学と社会をつなぐ、架け橋となる科学技術映像作品が求められていることに留意して審査を行う。

(2) 審査基準

a. 科学技術と社会との関係

科学や技術についての考え方、役割、課題、最新成果の理解、社会との関係性について、メッセージ性や企画意図などを審査する。

b. 正確性とわかりやすさ

科学技術の知見が正確に伝えられているかを審査する。研究・技術開発については、学術研究の映像化の価値を考慮する。

c. 演出映像・新規性

全体の構成・演出、映像表現力（撮影・照明）および技術力（音響・CG・特殊技術）などを審査する。作品の科学技術としての新規性、企画力やオリジナリティを審査する。

(3) 審査委員

運営委員会から委嘱された審査委員10名程度をもって審査委員会を構成する。審査委員会には運営委員会より委嘱された委員長1名、副委員長2名以内を置く。

(4) 審査の方法

- 審査は二段階審査（一次審査および本審査）で行う。
- 審査は審査上映会で実施するが、必要に応じてオンライン審査を併用する。
- 審査は原則として応募の際に選択された第1候補の部門において行う。ただし審査委員会にて第2候補部門の方がより適切であると判断する場合、第2候補の部門で審査を行う。
- 審査における利益相反の考え方については運営委員会が別に定め、それに基づき、適切に審査を実施する。
- 審査方法の詳細は審査委員会で決定する。

審査期間 2024年2月

発表 2024年3月上旬（予定）

プレスリリースおよび科学技術映像祭HP上で発表

表彰式 2024年4月19日（金）

科学技術館サイエンスホール

（内閣総理大臣賞受賞作品上映、

表彰状授与式、受賞記念スピーチ）

上映会 2024年4月～2025年3月 全国の科学館等にて受賞作品を上映

(4) 申込締切

2024年1月15日（月）必着

※募集締め切りが例年より早まり、1月15日までとなりますのでご注意ください。

<書類・作品提出先>

（公社）映像文化製作者連盟 「科学技術映像祭」係

〒103-0016東京都中央区日本橋小網町17-18

藤和日本橋小網町ビル7F

TEL:03-3662-0236 FAX:03-3662-0238

注意事項

（1）参加にあたっては、必要な著作権処理を行なっておいてください。万一、第三者から権利侵害、損害賠償などの主張がなされたときは、参加者自らの責任と負担で対処するものとし、主催者は一切の責任を負いません。

（2）外国語版を出品するときは、日本語のスク립トを添付してください。

（3）参加作品はストーリーがある動画映像作品とします。TV放送用途などでCM等が入った作品については、CM等をカットして一続きとしてください。

（4）科学技術映像祭の入選作品を広く活用する観点から、広報活動や全国の科学館等での入選作品発表上映会や、NHK等での放送に協力してください。受賞作品は、Webサイト、新聞報道等に掲載する広報資料用に作品の写真データの提供と発表上映会用にDVD、Blu-ray等のコピー、ファイル（MP4等）の提供をお願いします。

【科学技術映像祭 事務局】

（公財）日本科学技術振興財団 人財育成部

〒102-0091東京都千代田区北の丸公園2番1号

TEL:03-3212-8487 FAX:03-3212-0014

E-mail:filmfest@jsf.or.jp

申込方法

（1）科学技術映像祭公式WEBサイトURL

<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/> よりWEB申込の上、プリントした申込書に捺印し、必要書類および作品とともに下記宛まで提出してください。WEB申込ができない場合は下記までご相談ください。

（2）出品作品の提出形態：

以下のいずれかの方法で提出してください。その他の形態で出品を希望される場合は事務局にご相談ください。

※申込の際にオンライン審査に同意いただいた方は、パソコンで再生できるMP4等のファイルをお送りください。

	出品形態	再生機器	備考
①	録画用DVDディスク、 録画用Blu-rayディスク ※販売用ソフトを含む	家庭用再生機器 (DVDプレーヤー、 Blu-rayプレーヤー)	
②	USBメモリ、SDカード等	パソコン	MP4等の ファイル

(3) 提出書類等

○申込書 1通

○出品作品

○パンフレット等の印刷物 3部（あれば）

出品作品は事務局より後日返却いたします。

（送料：事務局負担）

運営委員 審査委員 主催団体

(敬称略、順不同)

運営委員 ◎委員長

- ◎永野 博 (公社)日本工学アカデミー 顧問
- 柿田 恭良 文部科学省科学技術・学術政策局 局長
- 善方 隆 (公社)映像文化製作者連盟 会長
- 三浦 啓一 (公社)映像文化製作者連盟 事務局長
- 佐藤 征夫 (一財)新技術振興渡辺記念会 理事長
- 中原 徹 (公財)つくば科学万博記念財団 理事長
- 木本 徹 (公財)日本科学技術振興財団 理事

審査委員 ◎委員長 ○副委員長

- ◎小出 重幸 日本科学技術ジャーナリスト会議 理事
- 丸山 剛司 中央大学研究開発機構 教授・客員研究員
- 高橋 真理子 科学ジャーナリスト
- 石上 友章 公立大学法人横浜市立大学附属病院 循環器内科 教授
- 岡田 秀則 独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ 主任研究員
- 木村 真一 東京理科大学 創域理工学部 電気電子情報工学科 教授
- 杉浦 淳二 映像・展示プロデューサー
- 武部 俊一 日本科学技術ジャーナリスト会議 顧問
- 田嶋 炎 (一社)日本民間放送連盟 特別主幹
- 多田 多恵子 植物生態学者
- 長谷川 高士 ブロードメディア株式会社
- 吉川 美恵子 NHK 解説委員室 解説委員

主催団体

公益財団法人日本科学技術振興財団

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1

TEL:03(3212)8487

公益社団法人映像文化製作者連盟

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7階

TEL:03(3662)0236

公益財団法人つくば科学万博記念財団

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻2-9 つくばエキスポセンター

TEL:029(858)1100

一般財団法人新技術振興渡辺記念会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル5階

TEL:03(5733)3881

※科学技術映像祭ホームページ

<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

***65th Science and Technology
Film/Video Festival***